

令和6年度 第4回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：令和6年9月20日（金） 13：30～15：30

場 所：小山市役所3階 会議室 ab

出席者：浅井秀実委員長、川合謙介副委員長、高田純子委員、岸野康之委員

【新小山市市民病院】

島田和幸理事長兼病院長、西村看護部長、関彰事務部長、大塚勝美事務部副部長兼経理課長、布施由弘総務課長、関悟人事課長、大川剛医事課長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進係）】

黒川澄子保健福祉部部長、福原円保健福祉部次長、栞原洋子健康増進課長、秋山典子地域医療推進係長、渡邊守覚主査、鈴木智美保健師

会議経過

発言者	内 容
1. 開会	
2. 委員長あいさつ	
3. 議事(浅井委員長進行)	
(1)地方独立行政法人新小山市市民病院第4期中期目標について	
事務局	事務局説明 資料1差し替え版をご覧いただき、第3回にて委員の皆さまよりご意見をいただき、目標案を修正させていただいた。変更部分は赤字になっている。 続いて、資料3地方独立行政法人新小山市市民病院第4期中期目標案の差し替えについて、こちらも第3回のご意見から修正し、赤字部分が変更箇所になっている。本日は修正後の中期目標案について、ご意見をお願いしたい。
委員長	それでは、委員の皆さまからご意見をいただきたい。まず初めに、資料1の中期目標の考え方について、修正箇所の説明を事務局をお願いしたい。
事務局	(資料1差し替え) 全体目標について、「高度な専門医療」という言葉から、「質の高い医療サービス」と修正し、働き方改革への対応の内容を盛り込み、「人材確保と診療の維持」という言葉に修正。修正箇所は以上。
委員長	委員の皆さまからご意見はあるか。 (意見なし) それでは、資料3の説明を事務局お願いしたい。
事務局	前文の修正箇所について、「ご尽力いただきたい」という表現であった部分の修正及び世界的な物価上昇や為替変動、労働人口減少の影響という言葉を追加し、資料1の全体目標と文言を揃えさせていただいた。修正箇所は以上。
委員長	前文について意見はあるか。
委員	論点をずらしたいわけではないが、1点気になっていることがある。自治体病院について、人事院勧告で給与2.5%あげるよう言われているが、現場の皆さまはどのように捉えていますか。
新小山市市民病院	当院は独立行政法人であるため、人事院勧告は1つの目安にはするが完全に準じて給与形態を考えるということからは離れている。今回のベースアップ評価料を基にし、企業としての競争力というところで人件費、賃金を今年度上げさせていただいた。正直、今の収支状況の中で賃上げは非常に苦しい。ただ、人材確保という観点の中から一定額というものは必ずやってかないといけない。周りの病院の状況や人事院勧告も参考にしながら、市民病院としてできることをやっていきたい。

委員	基本的なところを教えていただき、ありがとうございます。
委員	「近隣市町に在す」という表現について、「在す」とはあまり使われない言葉で難しい表現だと思われる。小山市近郊と言っているので近隣市町という表現はいいのではないのか。
新小山市民病院	現在増えて15病院になっている。
事務局	「近隣の大学病院や、小山市近隣の15病院で構成する」に修正させていただいてもよろしいか。
新小山市民病院	それだと大学病院も含まれてしまう。
委員	近隣の15病院というのは2次医療圏内に限っているのか。
新小山市民病院	当院の場合、県外も近隣になっているため、医療圏を超えている部分もある。
事務局	では、近隣の大学病院や小山市近郊の15病院で構成する小山市近郊地域連携協議会にて、地域の医療機関との連携を～と修正するのはいかがか。
委員	「近隣の大学病院や小山市近郊地域連携協議会を構成する15病院などの地域の医療機関との」でどうか。
委員長	前文に関してはよろしいか。 次に第2「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」に関する事項について、説明していただきたい。
事務局	1(1)「一次救急医療機関及び三次救急医療機関との連携」という文言を追加、(2)災害時における機能の強化は、「大規模災害の発生に備え」から「見据え」に修正。(3)新興感染症への対応は、「医療提供体制の確保」から「維持」に修正。(4)は誤字を修正。(5)は医療機関連携の記載がなかったため、全文を修正。 2「高度専門医療の提供」というタイトルは、「地域のニーズに応じた質の高い医療の提供」と修正。(1)診療機能の整備では、「高度な総合診療医」の部分「総合診療医をはじめとする質の高い医療人材の確保を図り、医療の充実」と修正。(2)急性期医療への対応については言葉の順番を入れ替え、「地域の中核的な医療機関」を最初にした。(4)周産期医療の対策は、診療報酬改定などという部分を削り、「周産期医療提供のため」という文を追加。 3「安全で信頼される医療の提供」では、(2)全文を修正。
委員長	委員の皆さま、いかがか。
委員	「迅速に対応して」という文言だと受け身に感じる。国の施策にのみ対応する印象、自らやっというところのかによっては、「DXを推進し」でも良いのではないのか。
事務局	「迅速に対応し」ではなく、「DXを推進し」に言い換える。
委員長	第3の業務運営の改善及び効率化に関する事項について、説明していただきたい。
事務局	1(1)組織マネジメント強化について、組織風土を「継続」から「醸成しながら」に修正。2(1)について、取得した資格等を活かすことができる職場にというご意見があったため、組織作りの後に制度作りという言葉を追加し、福利厚生制度を充実させ、安心して働きたいという言葉に修正。(3)業務について総合的な管理という言葉「DXを促進し、業務を明確化させ、より効率的」と修正。「職員の離職率を下げ、全職種における職員の定着率が上がる職場環境の整備」と修正。
委員長	ご意見いかがか。 (意見なし) 第4について説明していただきたい。
事務局	1は内部留保の有効活用という言葉「内部留保、内部資本の充実を維持しつ

	つ戦略的な設備投資を行い」に修正。2は収益の確保と費用の抑制について「抑制」から「適正化」に修正。
委員長	ご意見いかがか (意見なし) 第 5 について説明していただきたい。
事務局	1(1)広報等という表現を「様々な情報発信媒体を活用」と修正し、意識の高揚から「健康意識の醸成」に修正。
委員	「住民ボランティアも活用」という表現について、「活用」と言うと上から目線に感じる。
事務局	「住民ボランティアにご協力いただき」に修正してよろしいか。
委員長	「いただき」という表現ではない方が良いのではないか。
事務局	前文で「ご尽力いただき」という表現について「いただき」という表現ではない方が良いといご意見をいただいたので、「住民ボランティアとの協働」という表現でいかがか。
委員	「住民」という言葉が入っているから「活用」が偉そうに感じるのではないか。「地域のボランティアと協働し」とすれば良いのではないか。
事務局	タイトルに「地域社会との協働の推進」であるので、「地域のボランティアと協働し、人が集まる病院を」という文に修正させていただく。
委員長	それではよろしいか。全体的なところでも何かご意見いかがか。
委員	説明を聞きながら気になっていたことがある。第 4 の税務内容2(2)費用の適正化の部分について、綺麗に書かれているが、第 3 期と比較すると具体的には何も述べられていない。第 3 期は「コストの何々を適切に管理してコスト削減をする」や「経営状況の分析を随時行って」など具体的に記載があり、わかりやすく実効性のある目標であった。
新小山市民病院	委員のおっしゃる通りで、こちら非常にファジーというか形にはしてもらったのですが、病院の立場としては現在費用を抑制・削減することが非常に厳しい経済状況である。材料費や薬品費を抑えることが経済環境的に難しくなってしまったということもあり、昨今の状況を踏まえてこのような文言に留めさせていただいた。
委員	言いにくいことを聞いてしまってすみません。ありがとうございました。
委員長	昨日、栃木県医師会の会議に参加した。塩原温泉病院では、看護師の確保について厳しい状況と聞いた。
新小山市民病院	今年度はかなり厳しい状況が起きた。今年は近隣の看護学校の協力も得られ、来年度に向けて、改善の見込みが出てきたと思われる。一方で経験者の獲得は難しく、今後は経験者の獲得も目指していきたい。
委員長	東京に人材が持っていけると聞いた。
委員	医療マーケットに係る身からすると、委員長がお話しされた通り、東京圏の民間病院は看護師を迎えようとする、質を問わなければ揃うようになっている。一方、東京以外の都市では質を求めると途端に集まらなくなる。人の流れが東京に向かっているため、東京の病院では看護師が辞めてもすぐに人材が揃う状況。
委員長	他にご意見はあるか。(意見なし)
事務局	委員の皆さま第 4 回までご審議いただき、ありがとうございました。本日頂いたご意見を反映させ、24 日(火)1 時から市長に答申をさせていただく。評価委員を代表し、浅井委員長と川合副委員長にお願いしたいと思う。お忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。こちらの目標については、パブリックコメントを 10 月1～15 日に予定しており、市民の方のご意見を 12

	月末までには中期目標として策定予定となっている。第 5 回目は 12 月 20 日の金曜日に開催予定。本日はありがとうございました。
5. 閉会	

以上